

進めています! 自己改革



私たちは、平成28年度から農家・組合員や地域の方々の豊かなくらしを支えるため、「**農業者の所得増大**」「**農業生産の拡大**」「**地域の活性化**」の3つの目標を掲げ、具体的な目標値や行動計画を設定して、自己改革に取り組んでいます。

令和2年度においても、組合員・地域住民の声に基づく自己改革を実践し、農業協同組合の使命である農業所得の向上や地域農業の振興、さらには、地域に根ざした協同組合として「食」と「農」を通じた地域貢献活動に取り組んでいきます。

JAからつが取り組んでいる自己改革の一部を紹介します

飲水量の違いによる飼料摂取量の増加試験の取組について

『佐賀牛』を取り巻く環境は、全国的な出荷頭数の減少により枝肉相場は堅調に推移しているものの、素牛価格及び飼料価格の高止まり等から、生産コストは増高し、肥育農家の経営は深刻さを増す一方です。

こうした状況の中、農家経営改善に向けた、枝肉重量の増加を目的に、水槽区とウォーターカップ区に区分けし、飲水量の増加による配合飼料摂取量の増加に伴う生体重量の増加及び枝肉成績の向上が可能か検証する水槽試験に、JAからつ肥育牛部会青年部が取り組んでいます。



■ 水槽試験牛比較データ

| 性別 | 値 | 水槽区① | WC② | ①-② |
|------------|---------|------|-----|-------|
| B去 | 頭数 | 14 | 5 | 9 |
| | 平均体重 | 792 | 785 | 7 |
| | 平均BMS | 7.9 | 6.4 | 1.5 |
| | 平均ロース面積 | 66 | 64 | 2 |
| | 4・5等級頭数 | 12 | 3 | 9 |
| B牝 | 頭数 | 10 | 9 | 1 |
| | 平均体重 | 766 | 756 | 9 |
| | 平均BMS | 7.6 | 7.8 | -0.18 |
| | 平均ロース面積 | 72 | 63 | 9 |
| | 4・5等級頭数 | 9 | 9 | 0 |
| 全体の頭数 | 24 | 14 | 10 | |
| 全体の平均体重 | 781 | 766 | 14 | |
| 全体の平均BMS | 7.8 | 7.3 | 0.5 | |
| 全体の平均ロース面積 | 68 | 64 | 4.8 | |
| 全体の4・5等級頭数 | 21 | 12 | 9 | |